

# 平成26年1月度定例観察会報告書

## 六甲山自然案内人の会

実施日：平成26年1月12日（日）

天候：晴れ時々曇り

担当班：4班

テーマ：甲山を一筆書きに歩きます

見所：  
・六甲山の成立ちをのぞいてみよう  
・甲山一帯が海の中であった証拠をさがそう  
・甲山は火山かな？

参加人員：ビジター36名 会員35名 合計71名

コース：阪急仁川駅西口→仁川河川敷→地すべり資料館→甲山森林公園・展望台→  
広河原・なかよし池→中河原→自然の家→甲山→神呪寺→野仏の道→甲山森林公園  
→上ヶ原用水・三分樋→関西学院→仁川駅東口

配布資料：ルートマップ、甲山のなりたち

タイムスケジュール

09：15 開会挨拶 オリエンテーション

09：45 地すべり資料館

10：40 甲山森林公園・展望台

11：10 広河原・なかよし池

11：30～11：55 中河原で昼食

12：20 甲山自然の家・自然学習館

12：45 甲山・山頂

13：10 神呪寺

13：50 甲山八十八カ所六十二番

14：10 甲山森林公園・みどり橋

14：40 上ヶ原用水・三分樋

15：10 関西学院・正門

15：40 仁川駅東口 解散

概要

集合場所の駅前には狭いため仁川河川敷まで参加者を誘導し受け付けと開会挨拶を行いました。六甲山大学の講座として2ヶ月前から公開するなど幅広い広報活動の成果があり阪神地域の広範囲からたくさんのビジターの方が参加されました。また、天候にも恵まれ絶好の観察日和となったことで会員の参加も多数となりました。

ビジターの方を2組に分けそれぞれ係が案内し仁川左岸を上流に向かって登りました。途中、両岸の河岸段丘の様子や仁川の流れ、午後に登る甲山の眺望等を説明。

地すべり資料館では10時の会館前でしたが事前に係の方にお問い合わせして説明をしていただきました。

た。また会員も講師として六甲山の防災について説明をしました。

甲山森林公園の展望台に登り眼下に広がる仁川、武庫川、大阪平野、生駒山系などの地理や交通の歴史などについて会員講師が説明しました。

その後、広河原に降りなかよし池でアカメヤナギについて2人の会員講師が参加者の皆さんに冬芽など実物に触れていただきながら楽しく勉強しました。

中河原に移動し昼食。

12時、早めに出発し湿原を通り自然の家へ。自然学習館の展示や前庭にある花崗岩と安山岩が接している岩を見学し愈々甲山山頂へ登山開始。途中、大阪層群のチャートが積み重なっている露頭で会員講師が地層の生成について説明しこの辺りが海岸線であったことを解説。

この場所が狭かったため全員に声が届かず2回に分けて説明しました。その後、一気に山頂に向かいましたが列が長くなってしまいましたので、山頂にある2等三角点での説明も2回に分けて行い神呪寺で合流することとなりました。

神呪寺からは甲山八十八カ所のある野仏の道を歩きながら江戸期大阪城築城時の石切場跡などで講師の説明を行い、六甲花崗岩の露頭では山並みを一望にしながらか六甲山の成り立ちや地形についての解説をしました。

甲山森林公園のみどり橋ではホルトノキ、イイギリ、サクラバハンノキなどの枝先や果実の様子を高い位置から手に取るように見ながら説明を聞いていただきました。

上ヶ原台地に降りてくると用水の三分樋、関西学院大学のヴォーリス設計による校舎や宣教師宿舎などを見て仁川の河岸段丘、天井川になっている様子を体感しながら解散地点の仁川駅東口に急ぎました。皆さん健脚で最後まで無事に歩き通すことが出来ました。

今回の観察会は咲いている花が少ない冬場ということで地理歴史、地質など幅広い分野の知識を深めることを中心に企画し、コースを一筆書きにすることにより参加者の興味をより一層高める工夫がなされましたので楽しんでいただけたと思います。

報告:田丸



